

令和 7 年度 男女共同参画と多様な性についての市民アンケート調査結果（速報版）

市民

○調査の実施方法等

①調査対象

令和 7 年 6 月末日現在の横須賀市住民 15 歳以上 79 歳以下の
男女各 1,000 人、計 2,000 人を無作為に抽出

②調査票の配布・回収

郵便による配布、郵便・インターネットによる回収

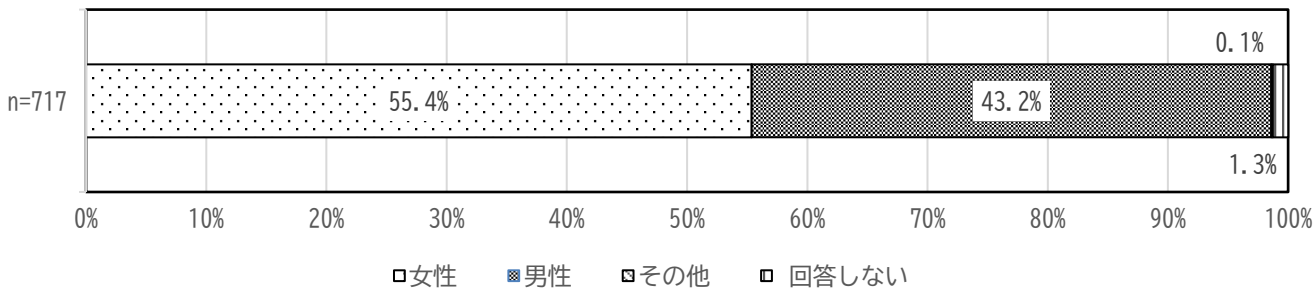
③調査期間 令和 7 年 8 月 12 日～9 月 25 日

○回収率 731 件（36.6%）（前回 45.6%）
（ネット回答 292 件、紙回答 439 件）

○結果

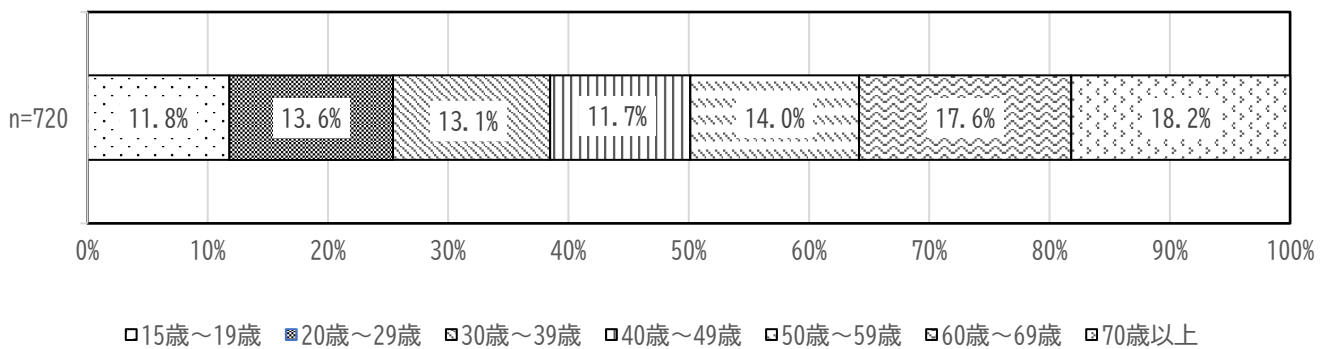
F 1 性別

① 性別	回答数	割合
女性	397	55.4%
男性	310	43.2%
その他	1	0.1%
回答しない	9	1.3%
無回答	13	
無効回答	0	
有効回答数 (n)	717	100.0%



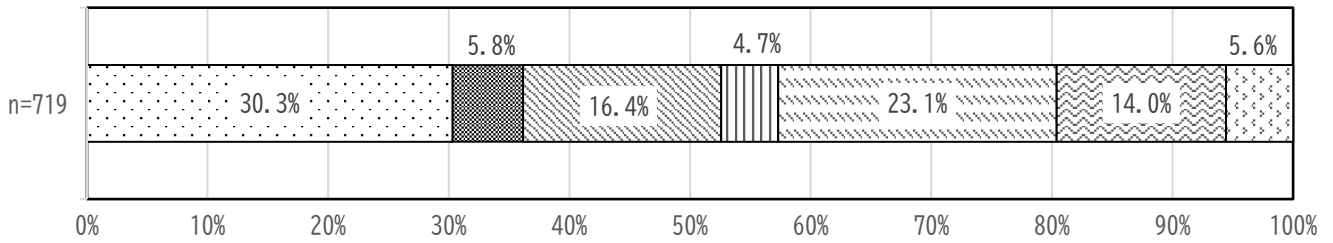
F 2 年齢（令和7年7月1日現在）

② 年齢	回答数	割合
15歳～19歳	85	11.8%
20歳～29歳	98	13.6%
30歳～39歳	94	13.1%
40歳～49歳	84	11.7%
50歳～59歳	101	14.0%
60歳～69歳	127	17.6%
70歳以上	131	18.2%
	無回答	10
	無効回答	0
	有効回答数 (n)	720
		100.0%



F 3 働き方等

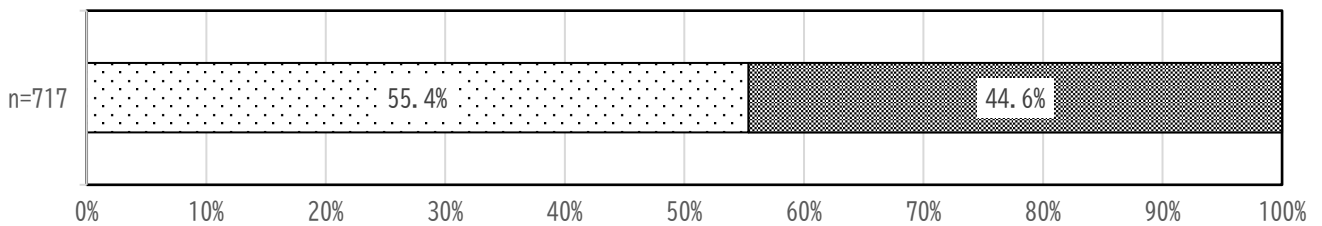
③ 働き方等	回答数	割合
正社員・正職員	218	30.3%
契約・派遣社員	42	5.8%
パート・アルバイト	118	16.4%
自営業	34	4.7%
家事専業・無職	166	23.1%
学生	101	14.0%
その他	40	5.6%
	無回答	10
	無効回答	1
	有効回答数 (n)	719
		100.0%



□正社員・正職員 ■契約・派遣社員 ▨パート・アルバイト □自営業 □家事専業・無職 □学生 □その他

F 4 結婚

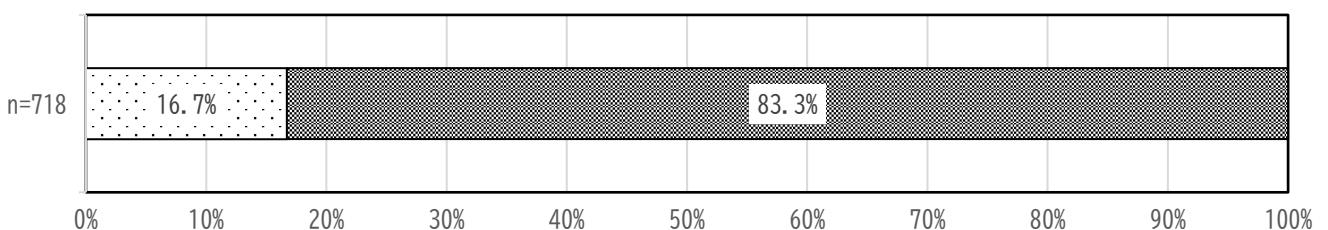
④ 結婚していますか	回答数	割合
している	397	55.4%
していない	320	44.6%
無回答	12	
無効回答	1	
有効回答数 (n)	717	100.0%



□している ■していない

F 5 中学生以下のお子さん

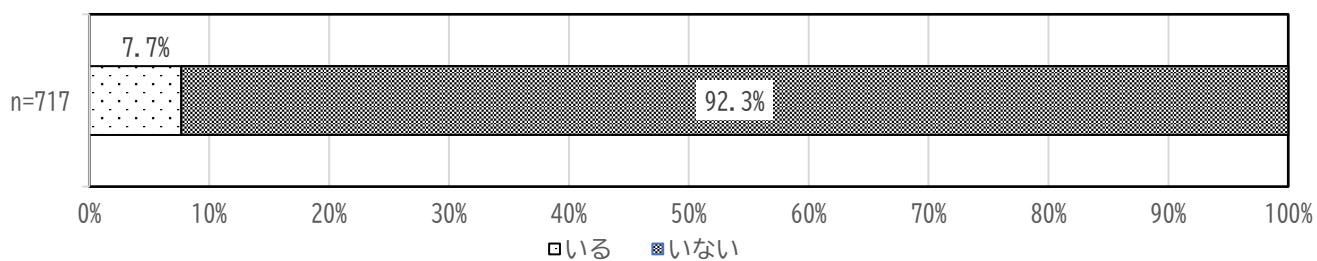
⑤ 中学生以下のお子さんはいますか	回答数	割合
いる	120	16.7%
いない	598	83.3%
無回答	12	
無効回答	0	
有効回答数 (n)	718	100.0%



□いる ■いない

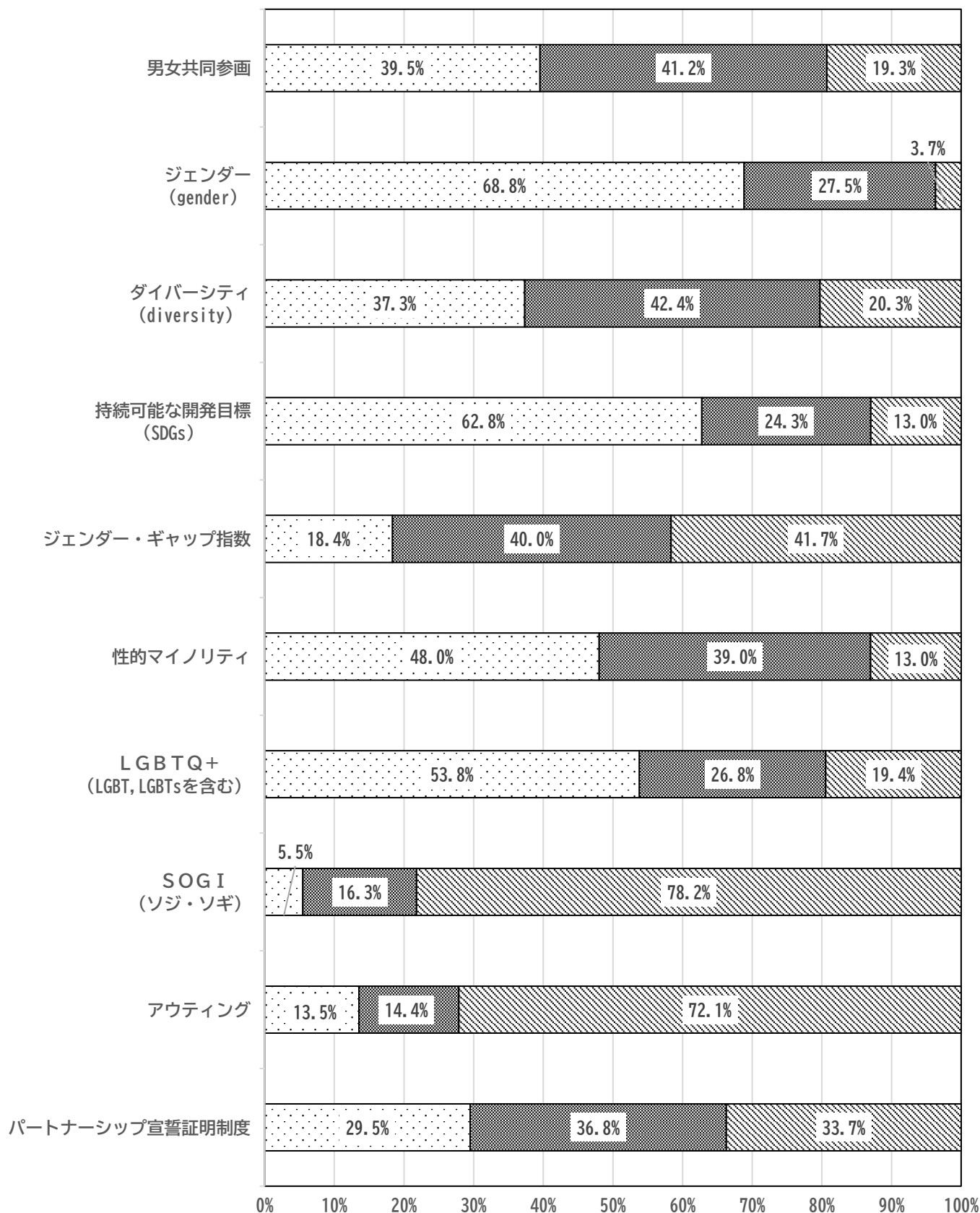
F 6 同一世帯に介護が必要な家族

⑥ 同一世帯に介護が必要な家族はいますか	回答数	割合
いる	55	7.7%
いない	662	92.3%
無回答	13	
無効回答	0	
有効回答数 (n)	717	100.0%



1 用語や制度の認知度についてうかがいます

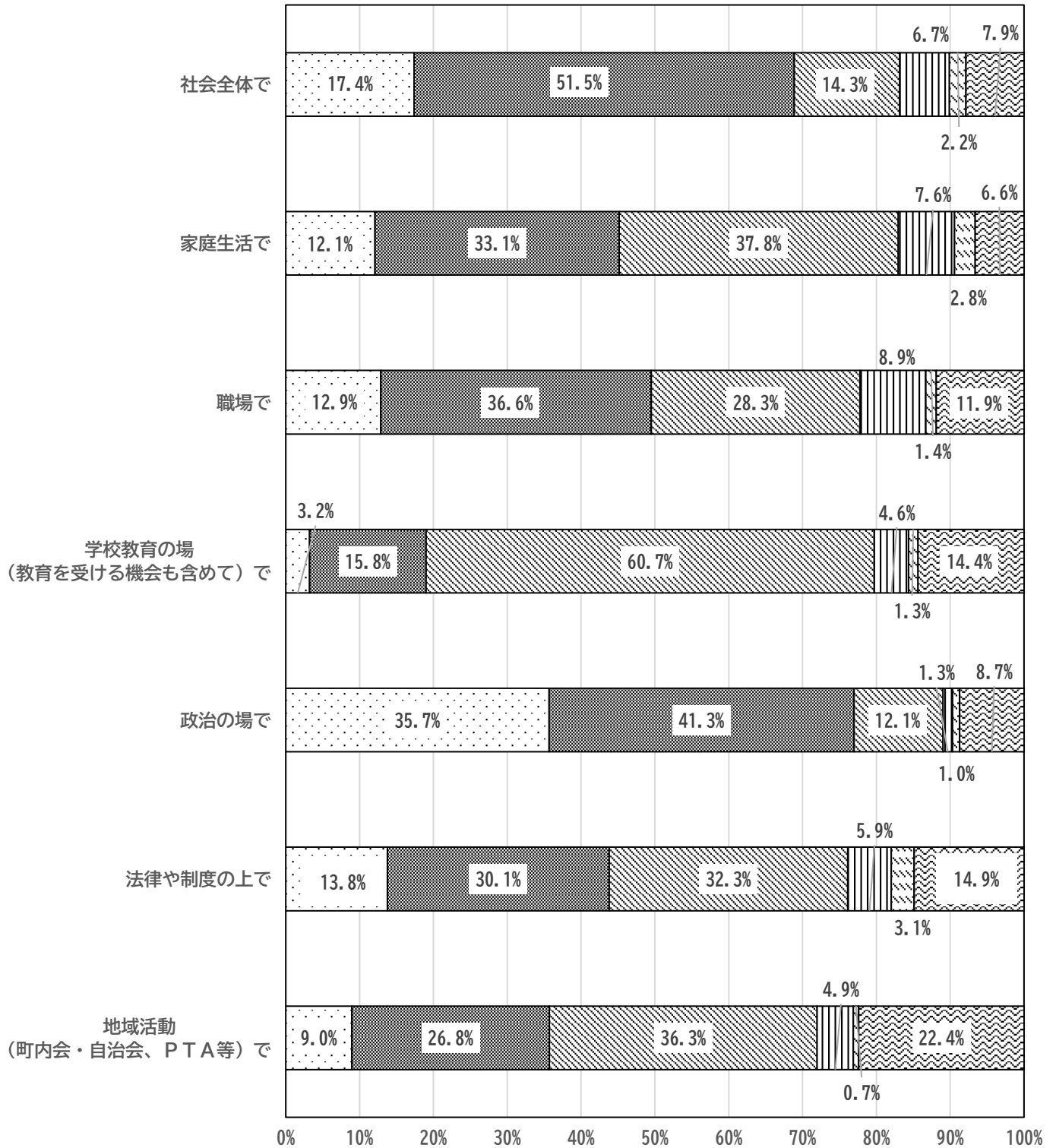
問1 あなたは、次の①～⑩に掲げる用語や制度等を知っていますか。



□内容も含めて知っている ■聞いたことはあるが、内容までは知らない ▨聞いたこともないし、内容も知らない

2 男女共同参画（社会）に関する考え方についてうかがいます

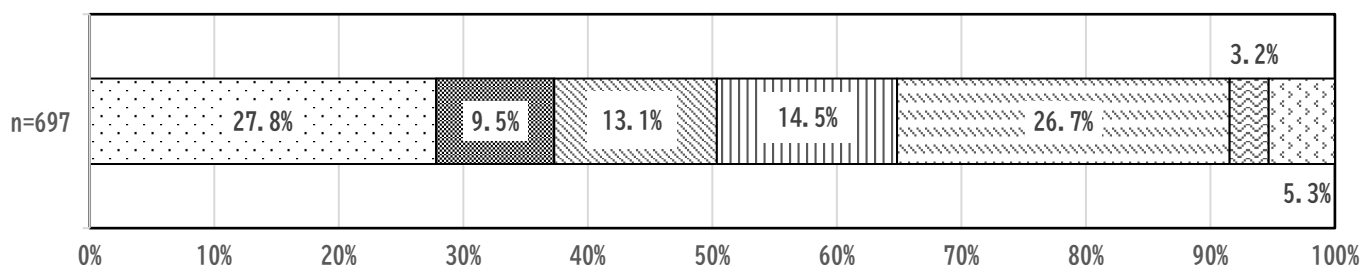
問2 あなたは、次の①～⑦の各分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない

問2 あなたは、次の①～⑦の各分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑦それぞれについて、あてはまる選択肢に1つだけ○をつけてください。	男性の方が優遇されている	優どちらかかといっている 優遇されている 男性の方が	平等である	優どちらかかといっている 優遇されている 女性の方が	女性の方が優遇されている	わからない
① 社会全体で	124 17.4%	367 51.5%	102 14.3%	48 6.7%	16 2.2%	56 7.9%
② 家庭生活上で	86 12.1%	235 33.1%	269 37.8%	54 7.6%	20 2.8%	47 6.6%
③ 職場で	91 12.9%	259 36.6%	200 28.3%	63 8.9%	10 1.4%	84 11.9%
④ 学校教育の場（教育を受ける機会も含めて）で	23 3.2%	112 15.8%	431 60.7%	33 4.6%	9 1.3%	102 14.4%
⑤ 政治の場で	254 35.7%	294 41.3%	86 12.1%	9 1.3%	7 1.0%	62 8.7%
⑥ 法律や制度の上で	98 13.8%	214 30.1%	230 32.3%	42 5.9%	22 3.1%	106 14.9%
⑦ 地域活動（町内会・自治会、PTA等）で	64 9.0%	191 26.8%	259 36.3%	35 4.9%	5 0.7%	160 22.4%

問3 男女共同参画社会の実現に向けて、あなたが考える1番の課題は何ですか。

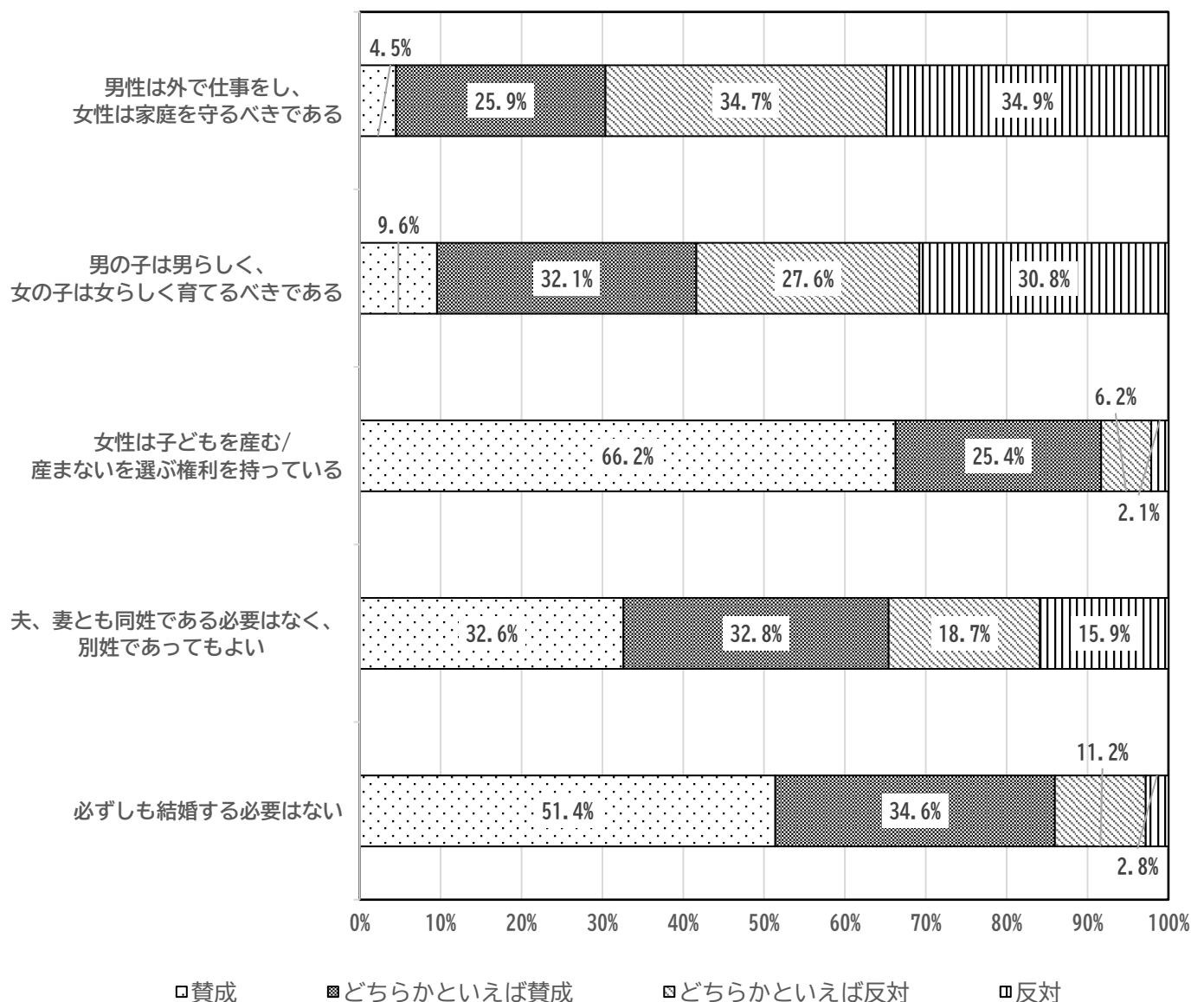


- 性別による固定的な役割分担の考え方の解消
- 男性優位の文化の解消
- 仕事と家庭の両立支援を進める
- 特に課題はない
- 女性の職業・意思決定の機会を増やす
- 家事・育児への男性参画を進める
- その他

問3 男女共同参画社会の実現に向けて、あなたが考える1番の課題は何ですか。(〇は1つ)	回答数	割合
性別による固定的な役割分担の考え方の解消	194	27.8%
女性の職業・意思決定の機会を増やす	66	9.5%
男性優位の文化の解消	91	13.1%
家事・育児への男性参画を進める	101	14.5%
仕事と家庭の両立支援を進める	186	26.7%
その他	22	3.2%
特に課題はない	37	5.3%

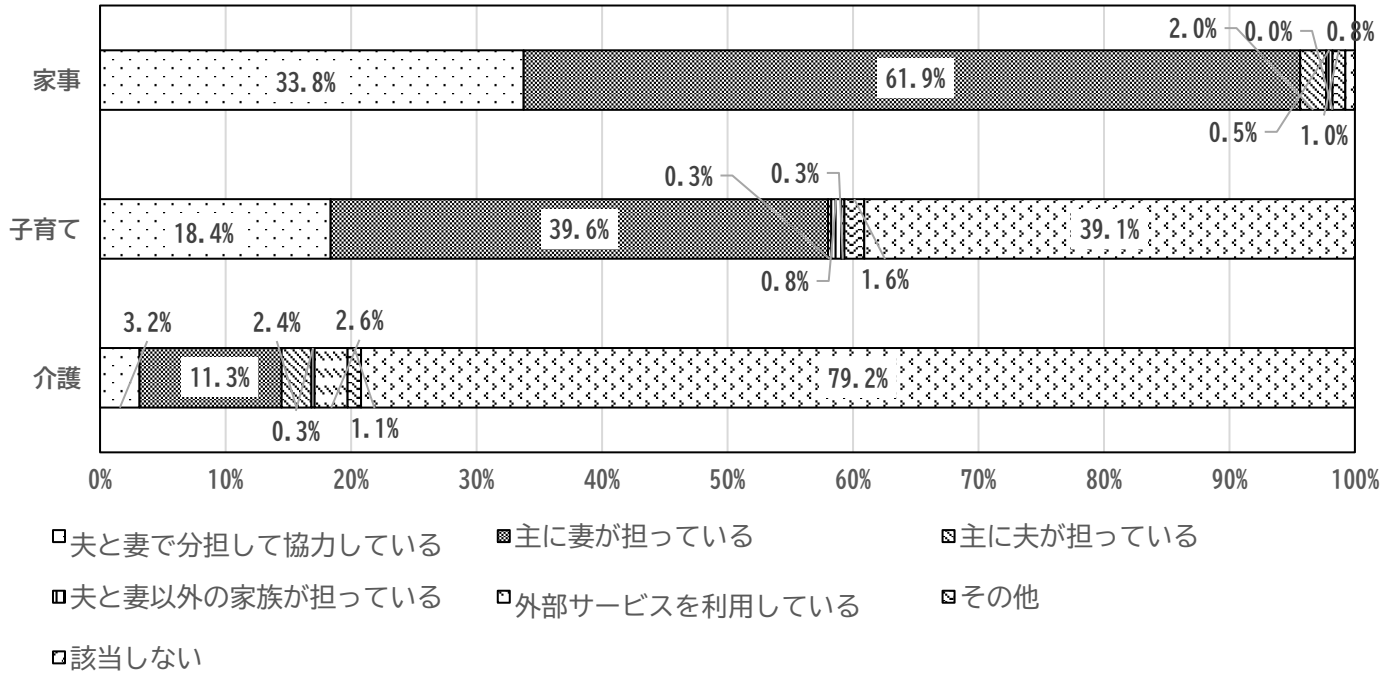
3 生活の中での男女共同参画についてうかがいます

問4 あなたは、次の①～⑤の意見について、どのように思いますか。①～⑤それぞれについて、あてはまる選択肢に1つだけ〇をつけてください。



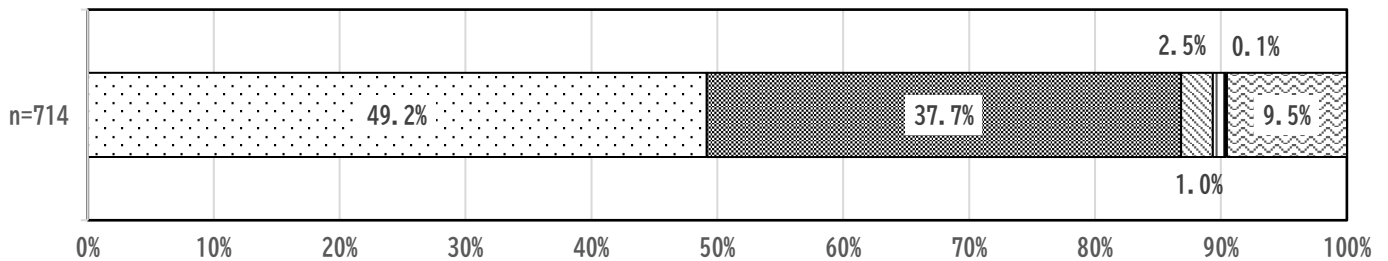
【現在、結婚（事実婚を含む）している方にうかがいます】

問5 家事や子育て等は、誰が日常的に担っていますか。



4 女性の職業生活における活躍を進めることについてうかがいます

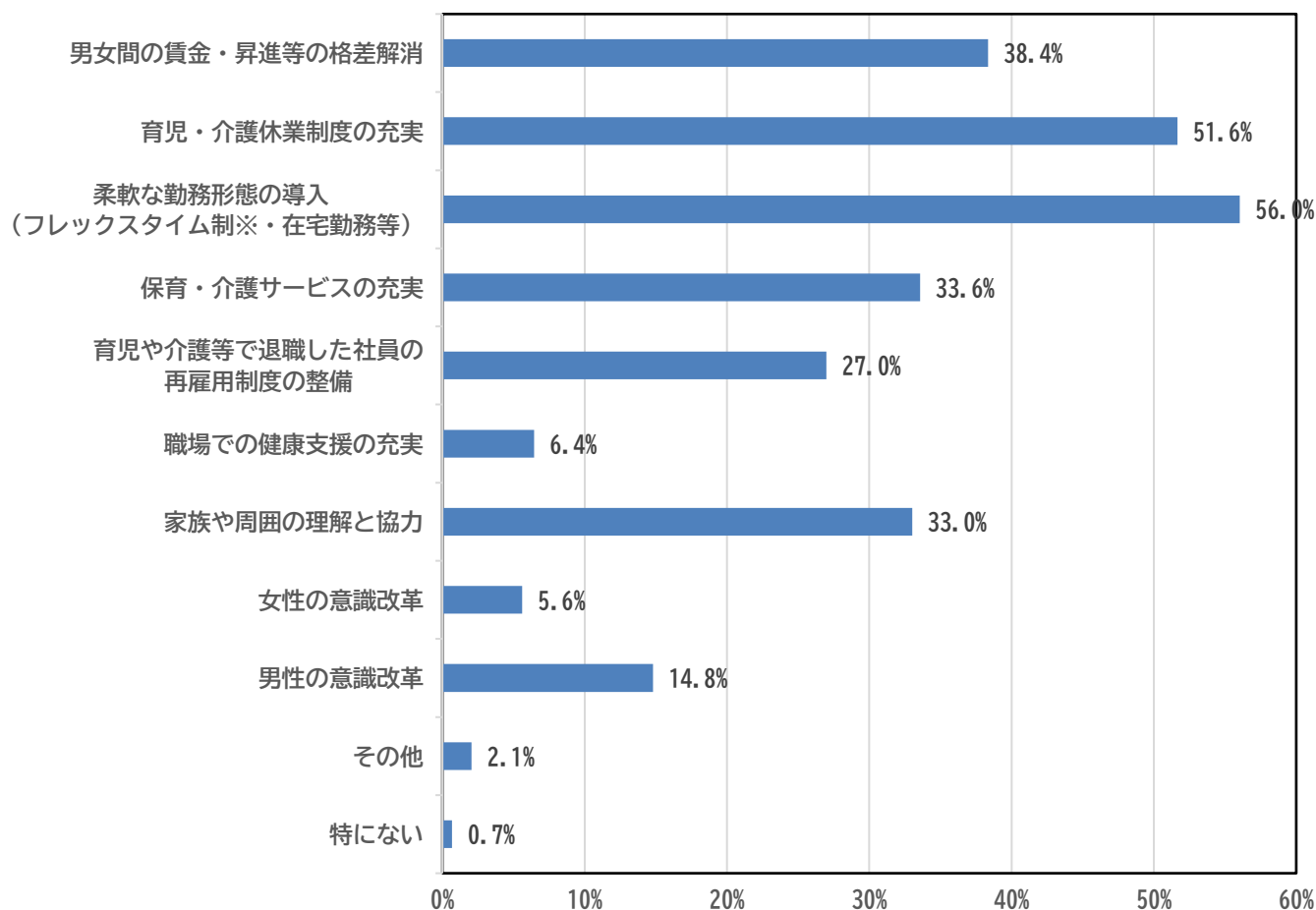
問6 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思いますか。



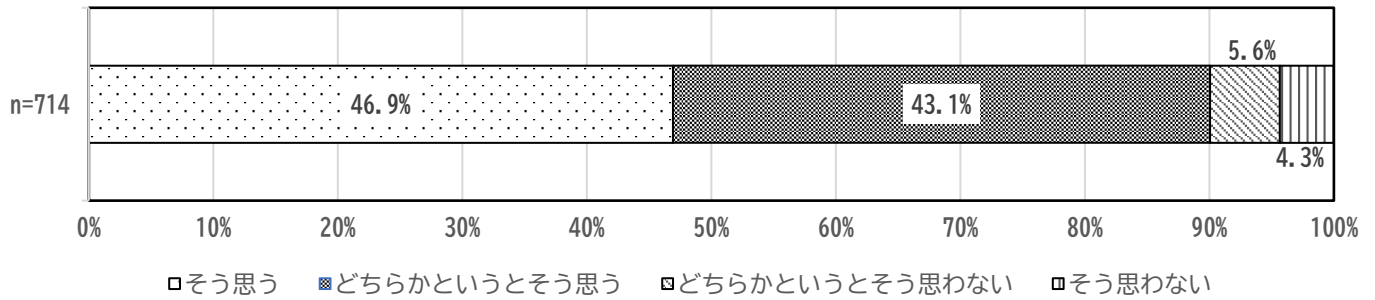
- 生涯にわたり、職業をもち続けるのがよい
- 子どもが生まれたらいったん職を辞め、子どもが成長した後再び職業をもつのがよい
- 子どもが生まれたらいったん職を辞め、その後は家事や育児に専念するのがよい
- 結婚したら職を辞め、家事に専念するのがよい
- 女性は職業をもたない方がよい
- その他

問6 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)	回答数	割合
生涯にわたり、職業をもち続けるのがよい	351	49.2%
子どもが生まれたらいったん職を辞め、子どもが成長した後再び職業をもつのがよい	269	37.7%
子どもが生まれたらいったん職を辞め、その後は家事や育児に専念するのがよい	18	2.5%
結婚したら職を辞め、家事に専念するのがよい	7	1.0%
女性は職業をもたない方がよい	1	0.1%
その他	68	9.5%

問7 女性が長く働き続けるためには、あなたは、どのようなことが特に重要だと思いますか。

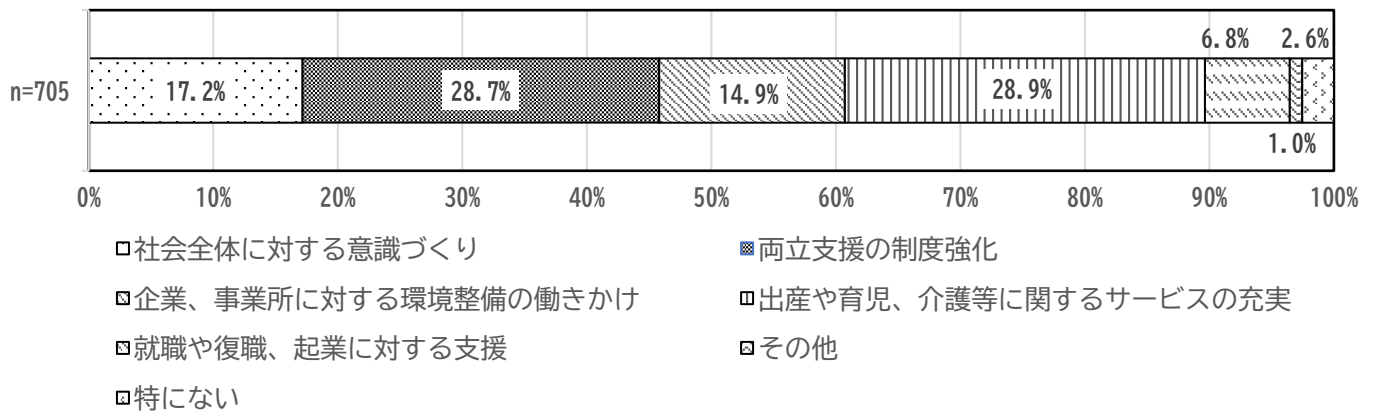


問8 あなたは、政治、経済、地域活動において、リーダーや役員にもっと女性の参画が必要だと思いませんか。

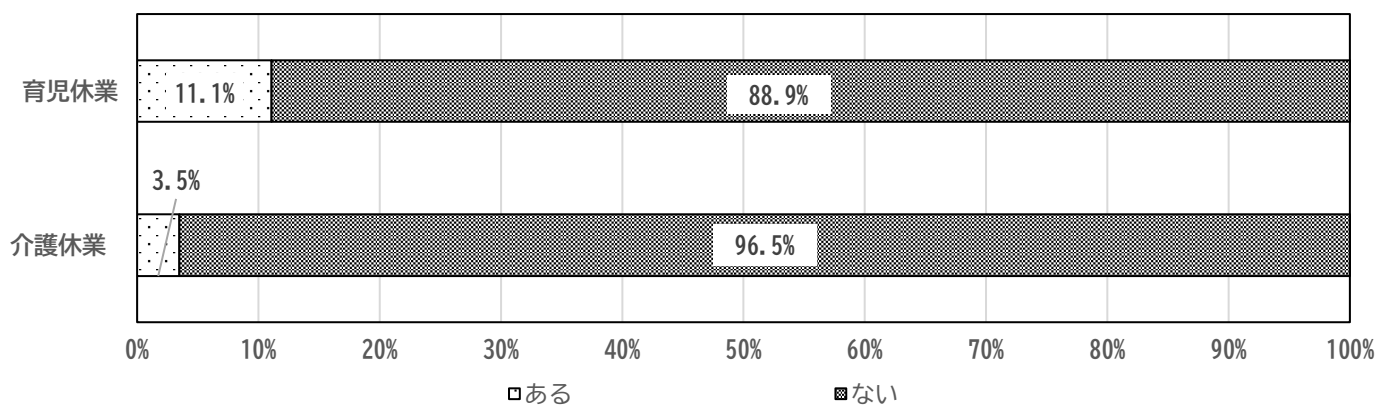


5 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてうかがいます

問9 仕事と生活を両立できるようにするための国や市役所等の公的な取り組みとして、あなたが最も重要だと思う選択肢に○をつけてください。

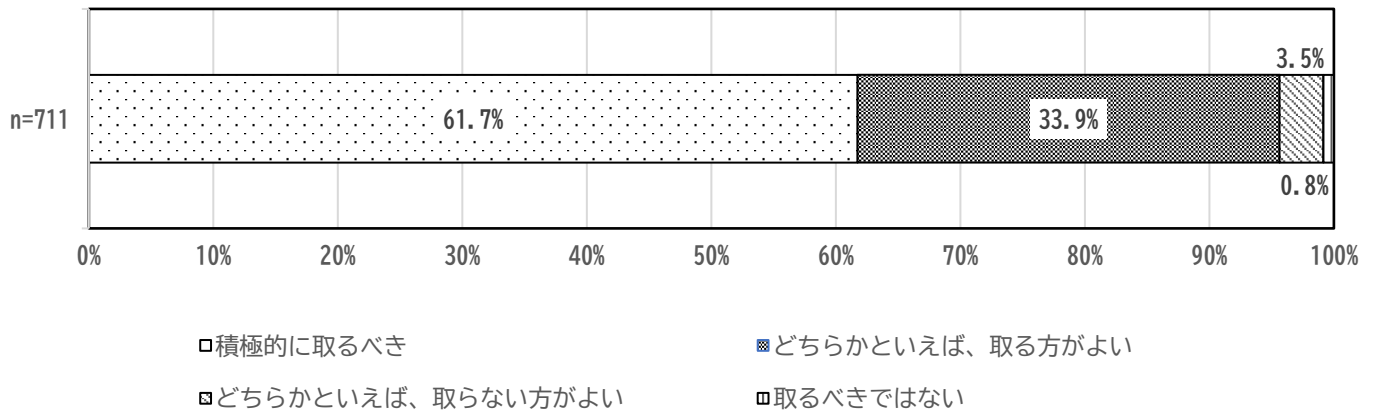


問10 あなたは、今までに育児休業・介護休業を取ったことがありますか。

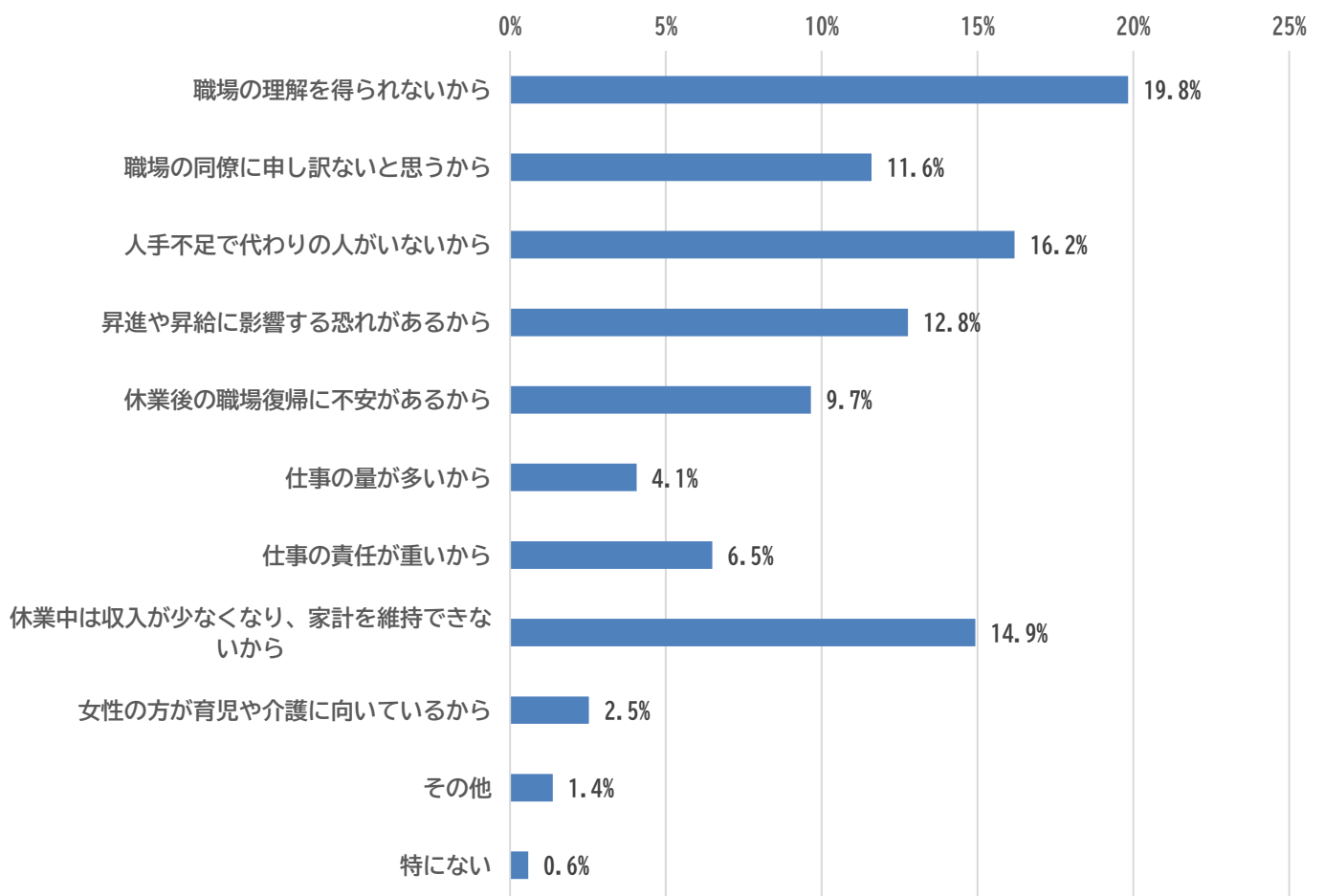


6 男性の育児や介護の参画についてうかがいます

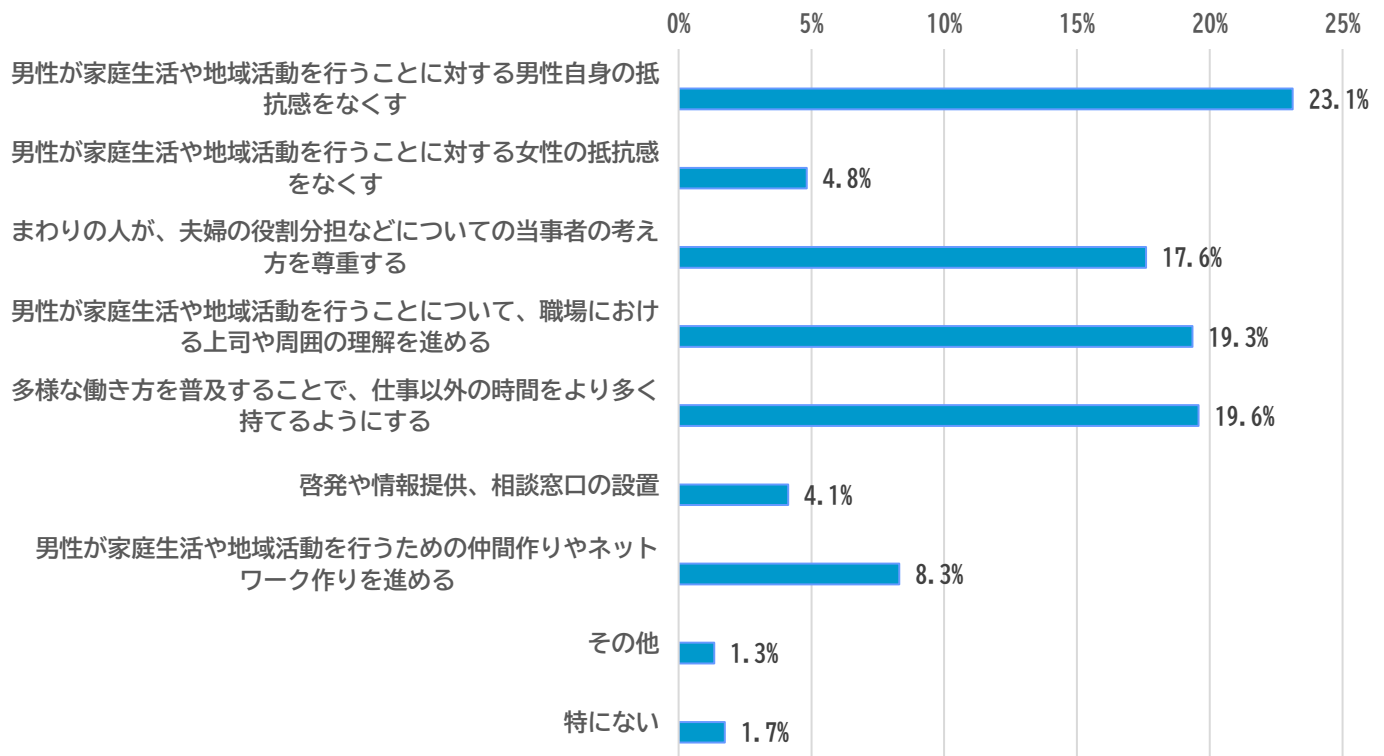
問 11 あなたは、男性が育児や介護のために休業をとることについてどう思いますか。



問 12 育児休業や介護休業を取る男性は、女性に比べて少ないことや、期間が短いのが現状です。あなたが、特に大きな要因だと思うものを選んでください。



問13 あなたは、今後、男性が家事・育児・介護などの家庭生活や、町内会・自治会やPTA等の地域活動をより積極的に行っていくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。

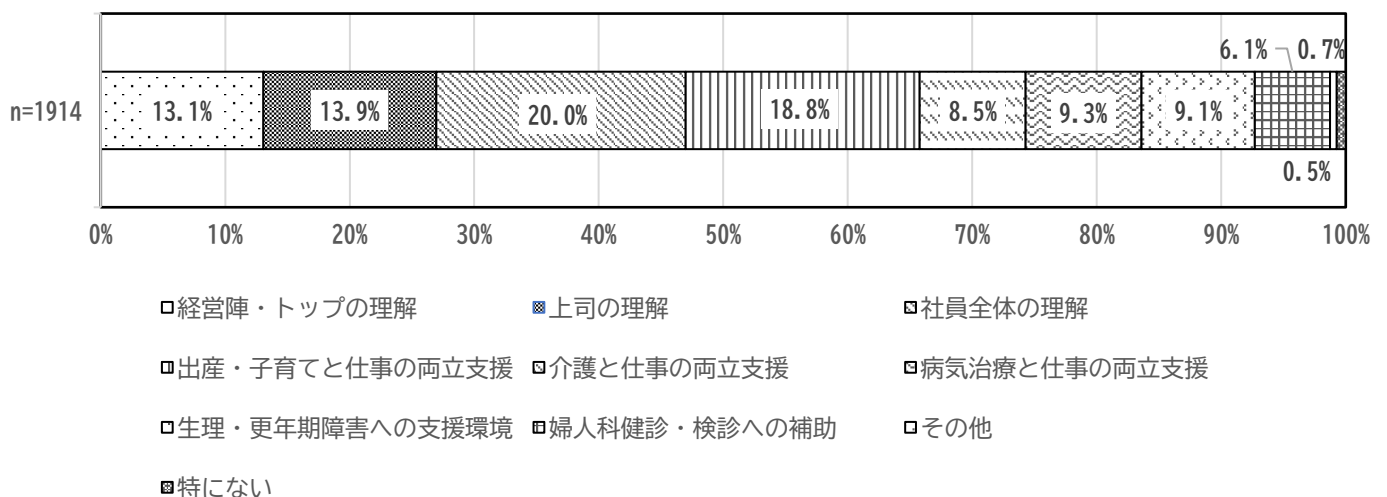


7 健康課題についてうかがいます

問14 女性の社会進出等の観点からも、女性の健康課題※に対する取り組みが重要視されています。女性の健康課題について、職場でどのような配慮があると働きやすいと思いますか。特に重要だと思う選択肢に○をつけてください。

※女性の健康課題

月経痛や月経前の時期の不調（PMS：月経前症候群）など月経周期に伴う不調、妊娠、不妊、更年期障害、婦人科系がん等の疾患や不調等



問14 女性の社会進出等の観点からも、女性の健康課題※に対する取り組みが重要視されています。女性の健康課題について、職場でどのような配慮があると働きやすいと思いますか。特に重要だと思う選択肢に○をつけてください。（○は3つまで）	回答数	割合
経営陣・トップの理解	250	13.1%
上司の理解	266	13.9%
社員全体の理解	383	20.0%
出産・子育てと仕事の両立支援	360	18.8%
介護と仕事の両立支援	163	8.5%
病気治療と仕事の両立支援	178	9.3%
生理・更年期障害への支援環境	174	9.1%
婦人科健診・検診への補助	116	6.1%
その他	10	0.5%
特になし	14	0.7%

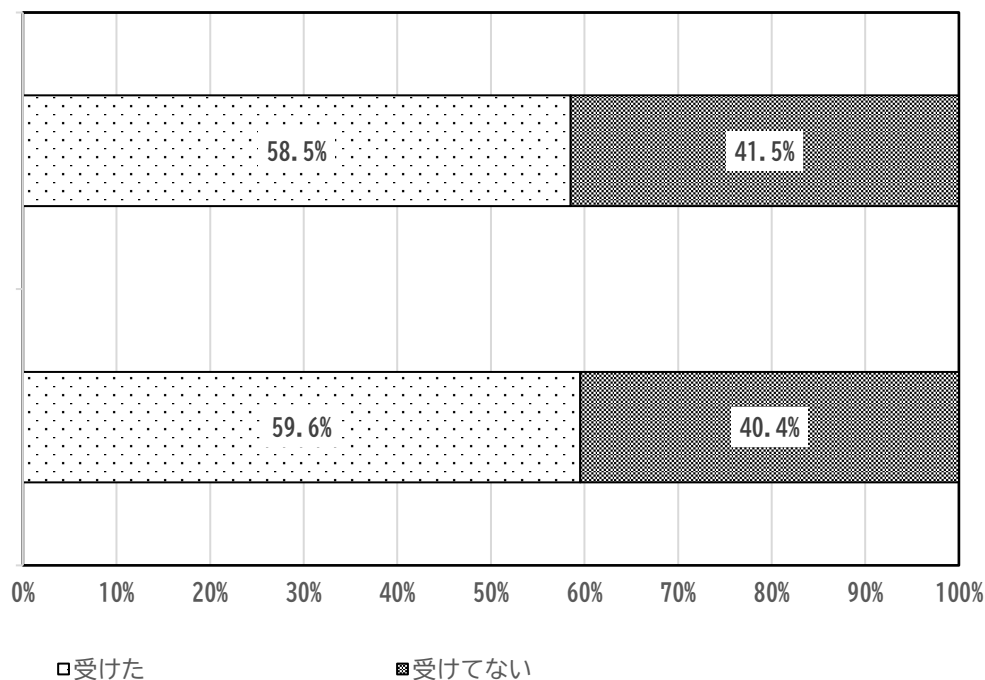
【20歳以上の女性にうかがいます】

問15 あなたは、過去2年間に以下の2つのがん検診※を受けましたか。

※健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）の中で受診したものを含みます。

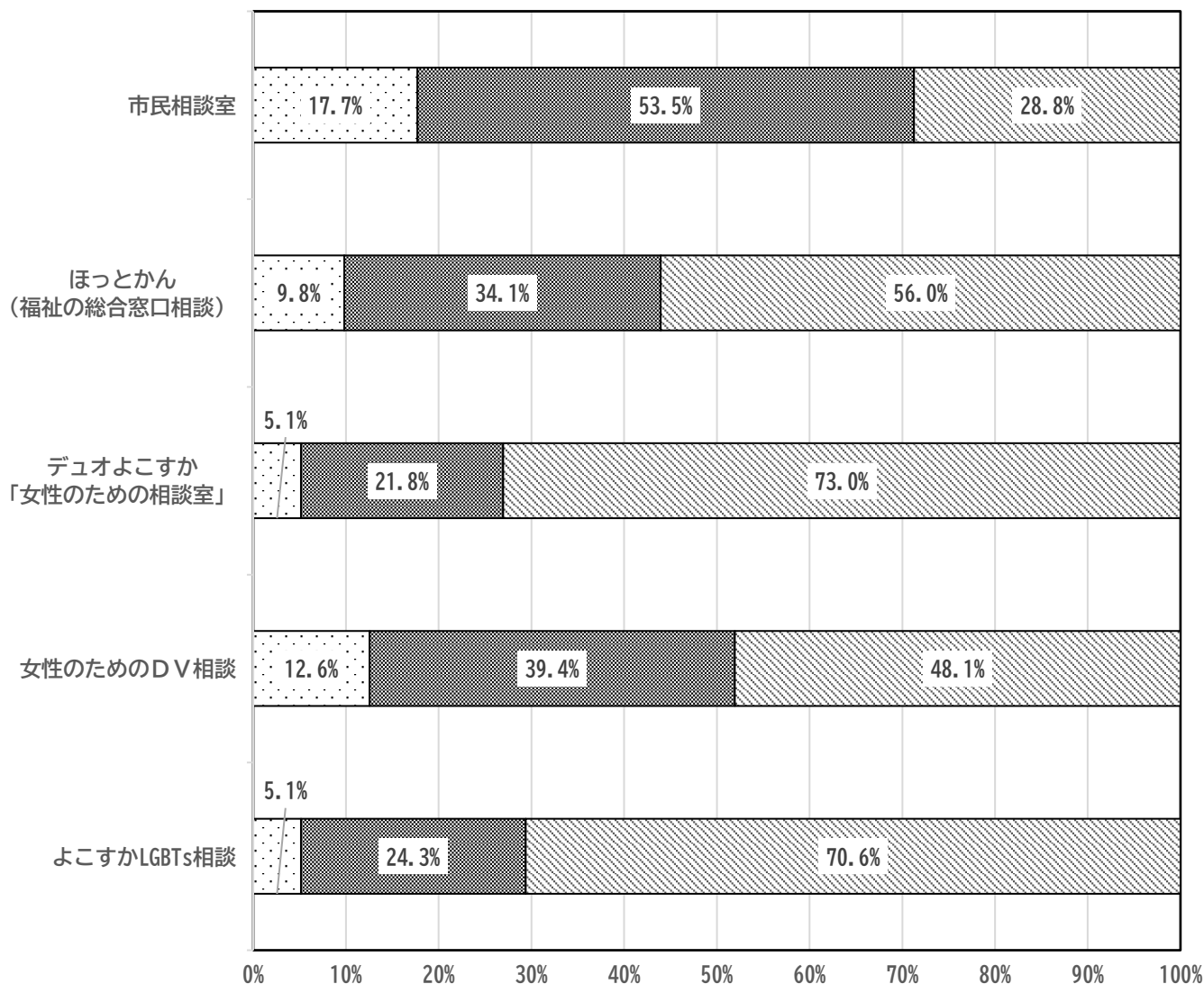
【20歳以上の女性にうかがいます】
子宮がん（子宮頸がん）検診
（子宮の細胞診検査など）

【40歳以上の女性にうかがいます】
乳がん検診
（マンモグラフィ撮影や乳房超音波
（エコー）検査など）



8 市の相談支援窓口についてうかがいます

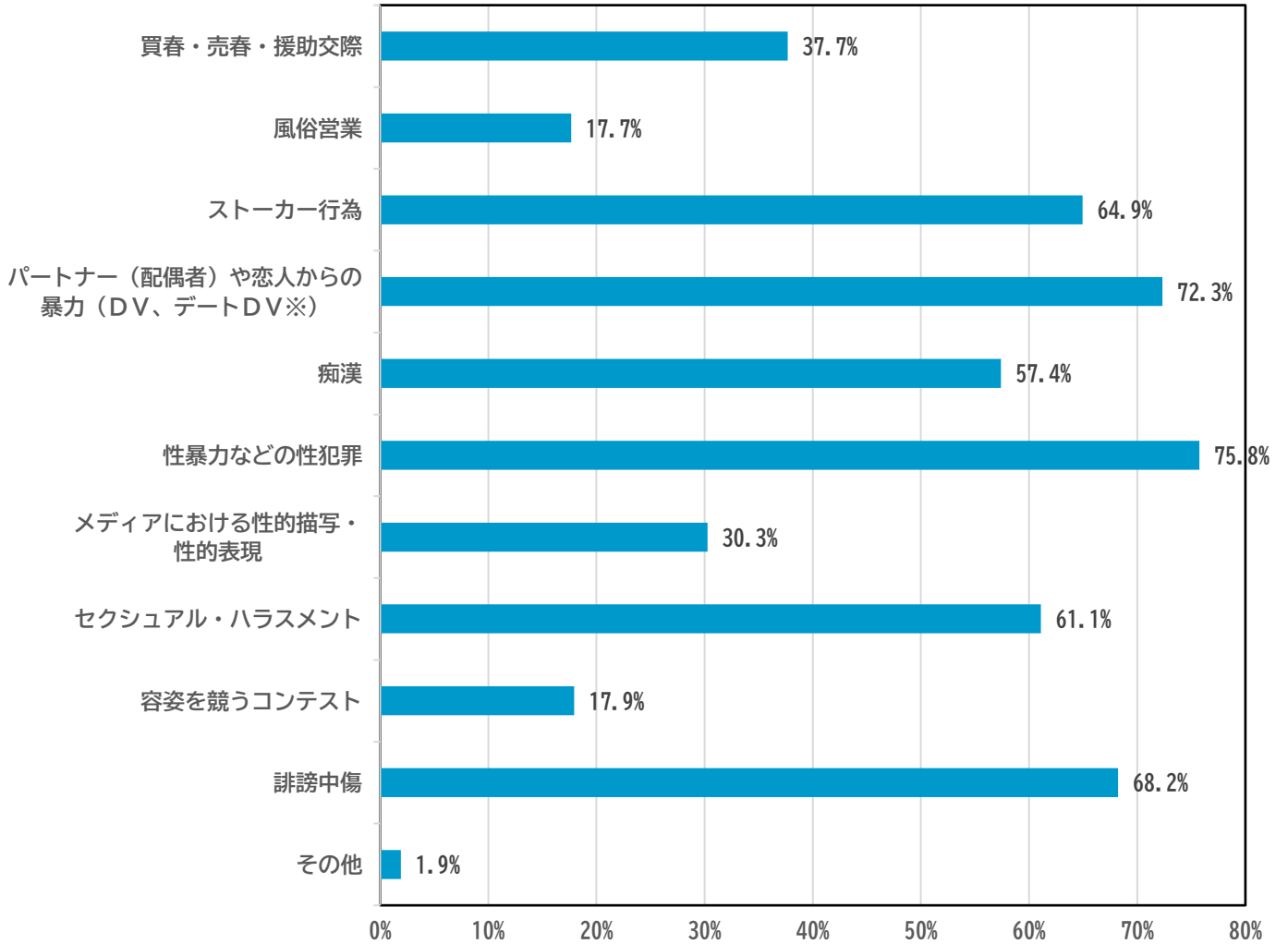
問16 あなたは、次の①～⑤に掲げる市の相談事業を知っていますか。



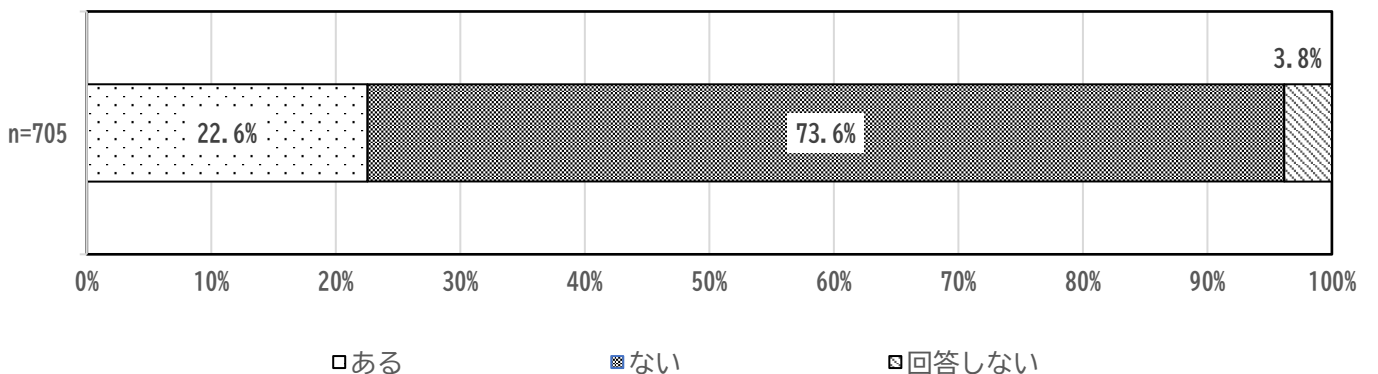
□内容も含めて知っている ■聞いたことはあるが、内容までは知らない ▨聞いたこともないし、内容も知らない

9 性別等に基づく人権侵害（DV、ハラスメント等）についてうかがいます

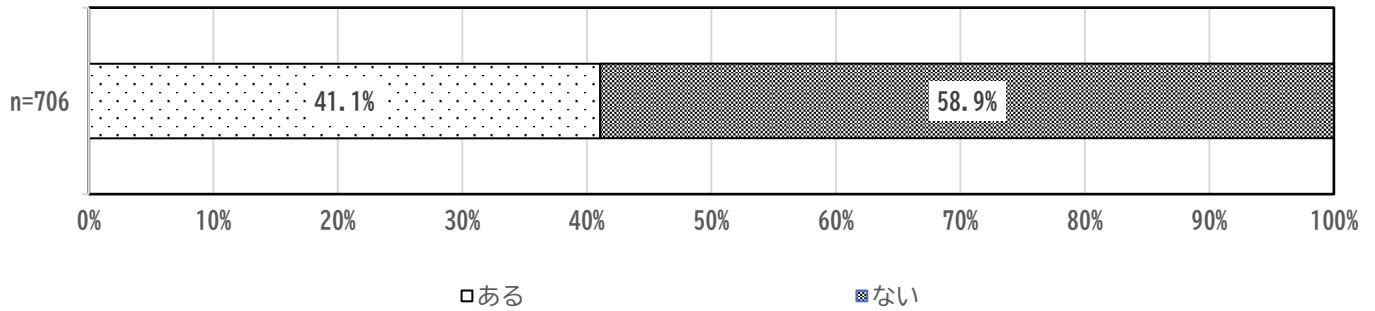
問 17 「人権が侵害されている」とあなたが感じるのはどのような場合ですか。
あてはまる選択肢に○をつけてください。



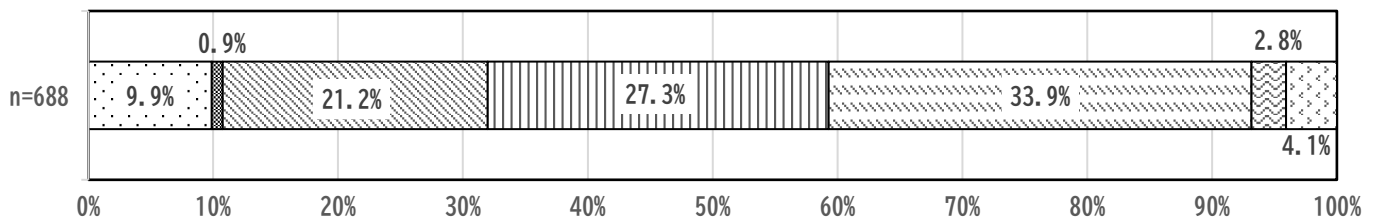
問 18 あなたは、職場や学校、地域などにおいてセクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。



問 19 あなたは、職場や学校、地域など、あなたの身の回りにおいてセクシュアル・ハラスメントの場面を見たり、被害を聞いたりしたことがありますか。

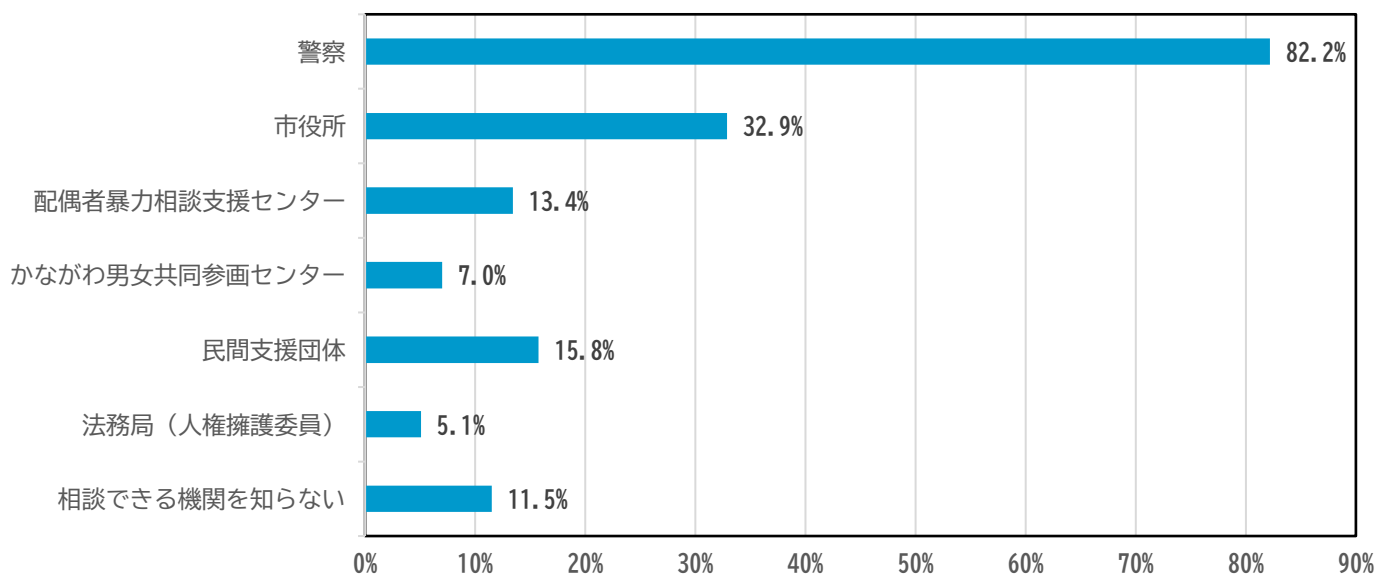


問 20 あなたは、セクシュアル・ハラスメントをなくすためにはどのような取り組みが最も必要だと思いますか。

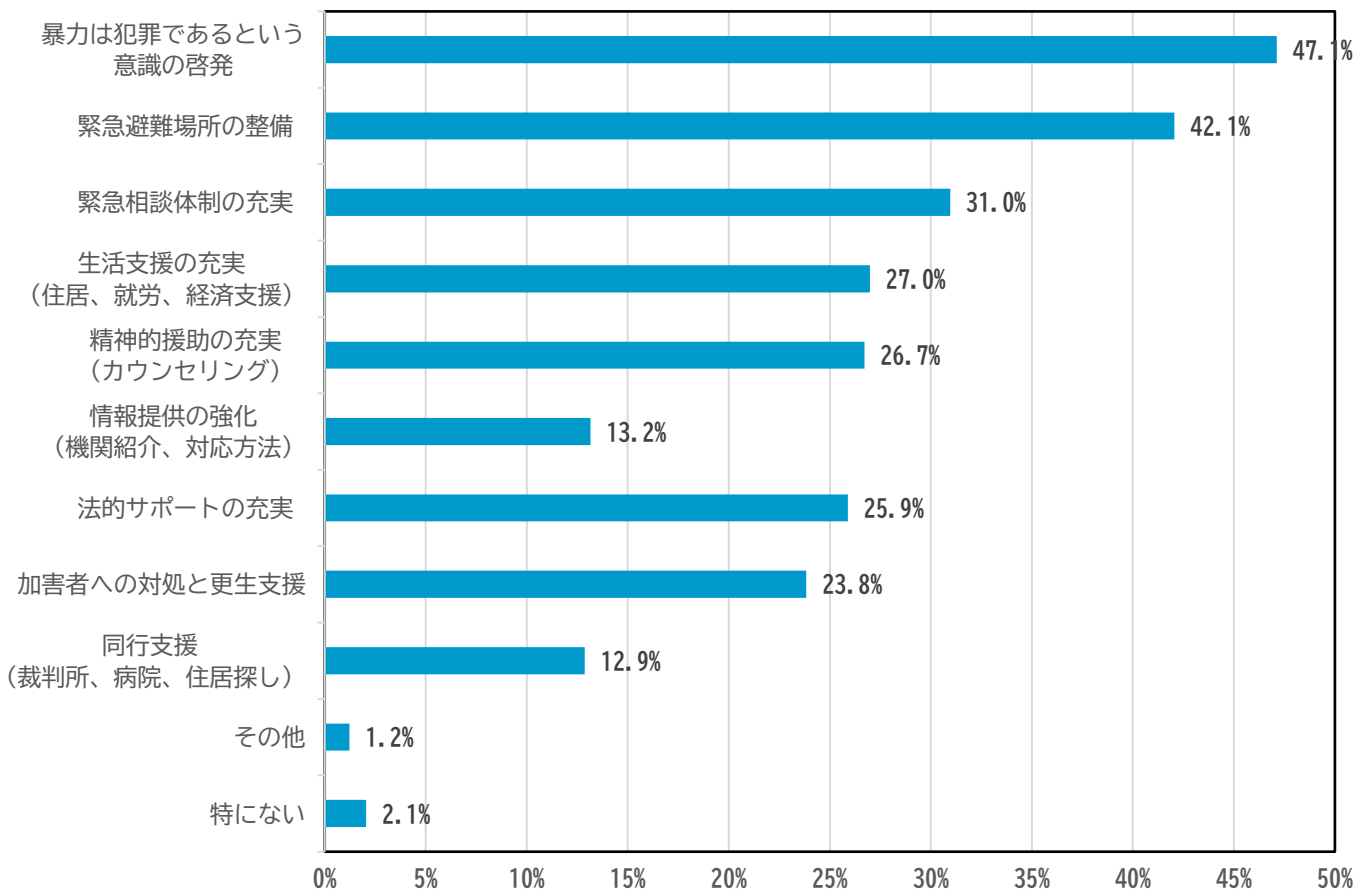


- 公的機関の相談や指導の強化
- 民間ボランティア団体等のチェックや相談
- 職場内でのチェックや相談
- セクシュアル・ハラスメントを禁止する法律や条例などの強化
- セクシュアル・ハラスメントは人権侵害だという社会意識づくり
- その他
- 特にない

問 21 配偶者や恋人など親しい間柄における暴力（DV）について、相談できる機関としてあなたが知っている選択肢に○をつけてください。

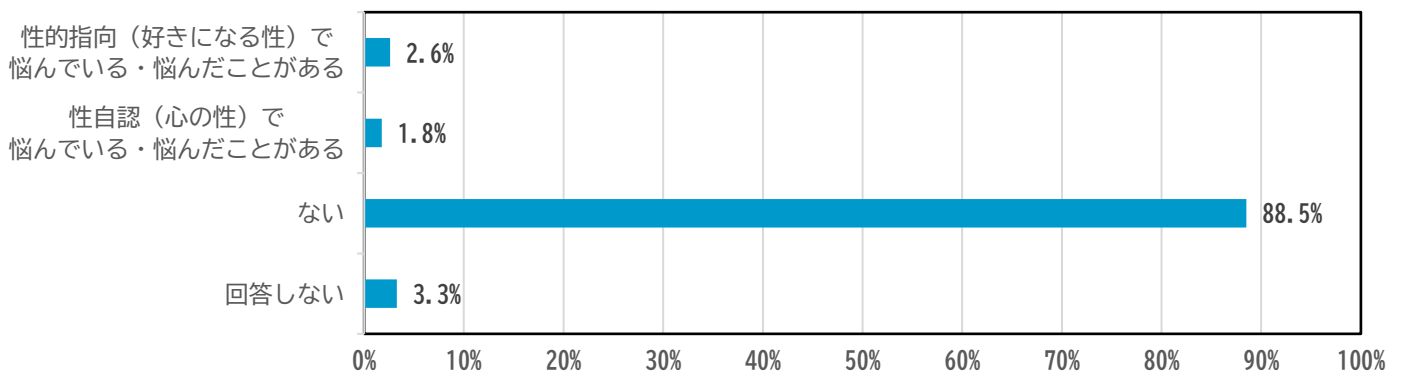


問 22 あなたは、配偶者や恋人など親しい間柄における暴力（DV）に対する対策や支援として特に重要だと思う取り組みは何だと思いますか。

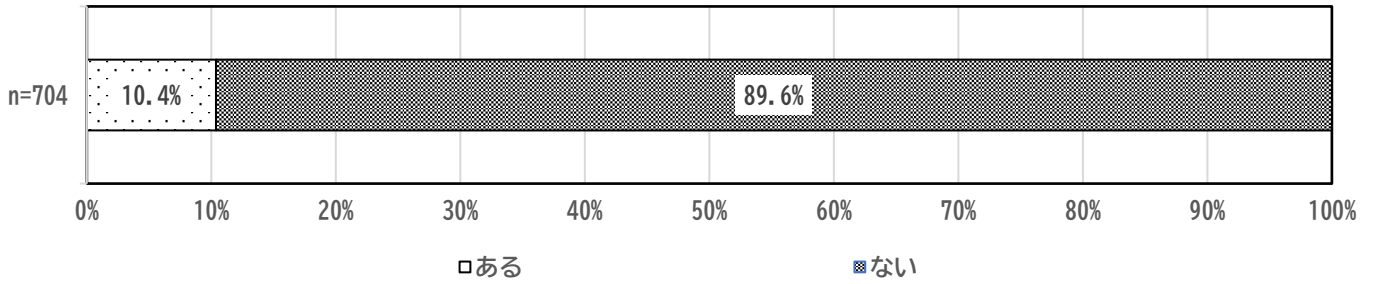


10 多様な性・性的マイノリティ（LGBTQ+）についてうかがいます

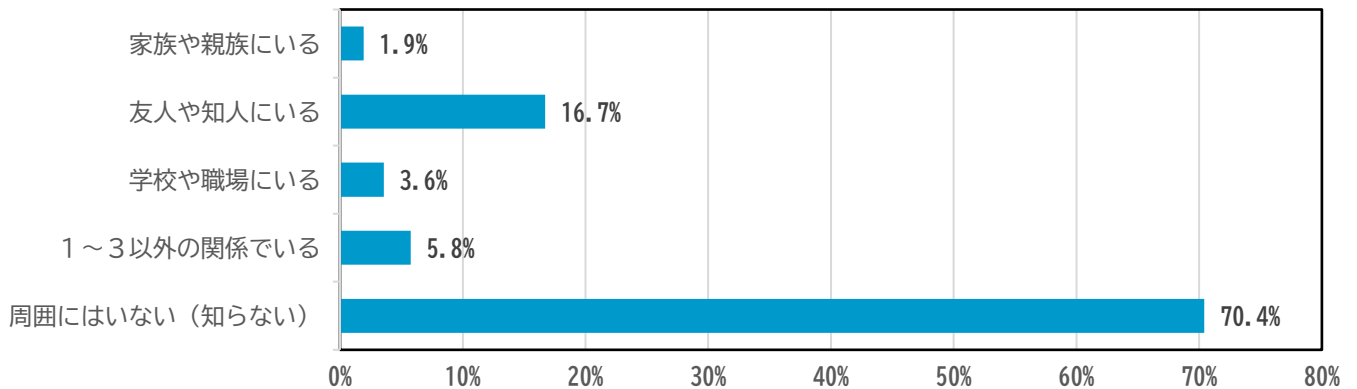
問23 あなたは、今までに自分の性的指向（好きになる性）や性自認（心の性）に悩んだことがありますか。（複数回答可）



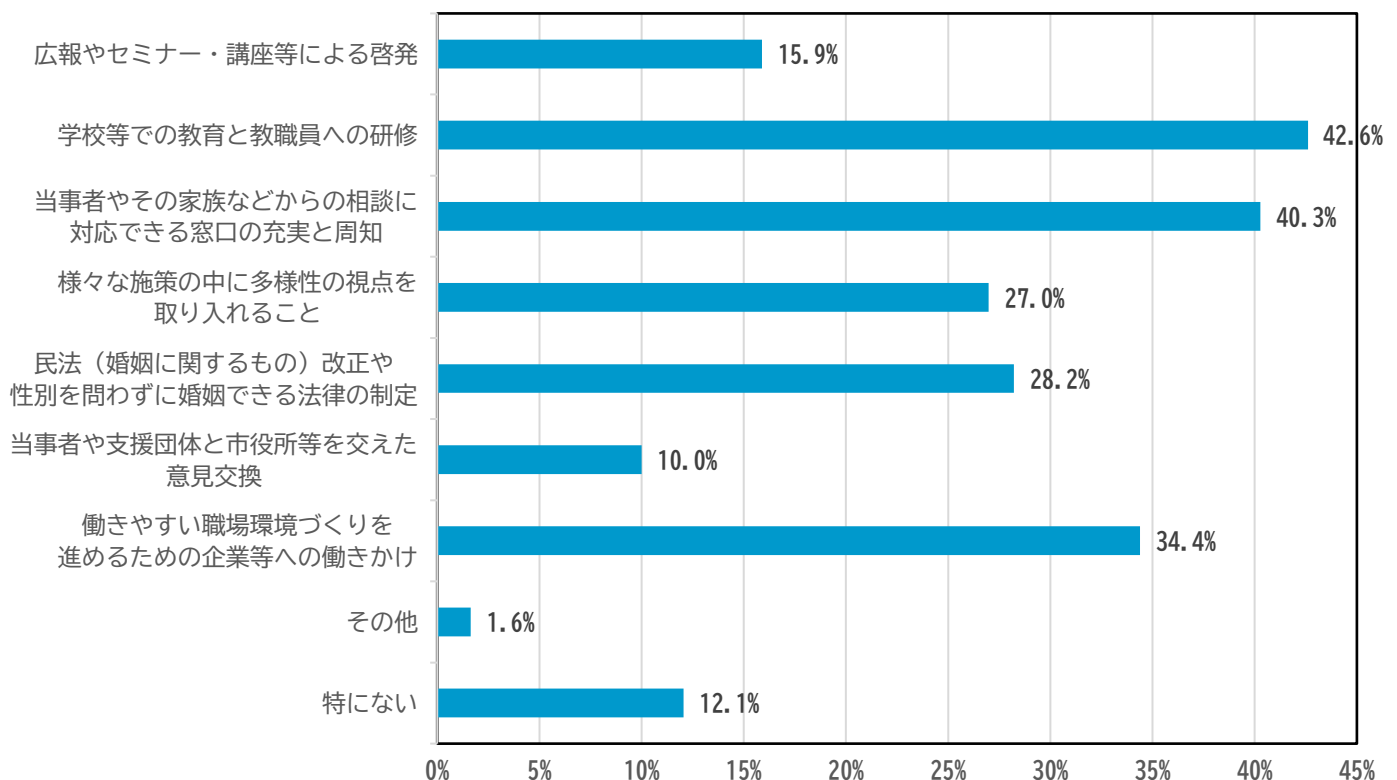
問24 あなたは、あなたの身の回りの人から、性的指向（好きになる性）や性自認（心の性）について相談を受けたことがありますか。



問25 あなたの身の回りに性的マイノリティ（LGBTQ+）の当事者はいますか？



問26 あなたは、性的マイノリティ（LGBTQ+）の当事者への支援として、特に重要だと思う市役所がすべき取り組みは何だと思えますか。



11 横須賀市が進める取り組みについてうかがいます

問 27 あなたが、男女共同参画社会、多様な性が尊重される社会の実現に向けて、横須賀市が特に重点をおいて取り組むべきと思うものは、どのようなことですか。

